

都市再生整備計画 事後評価シート
座間地区

平成29年3月

神奈川県座間市

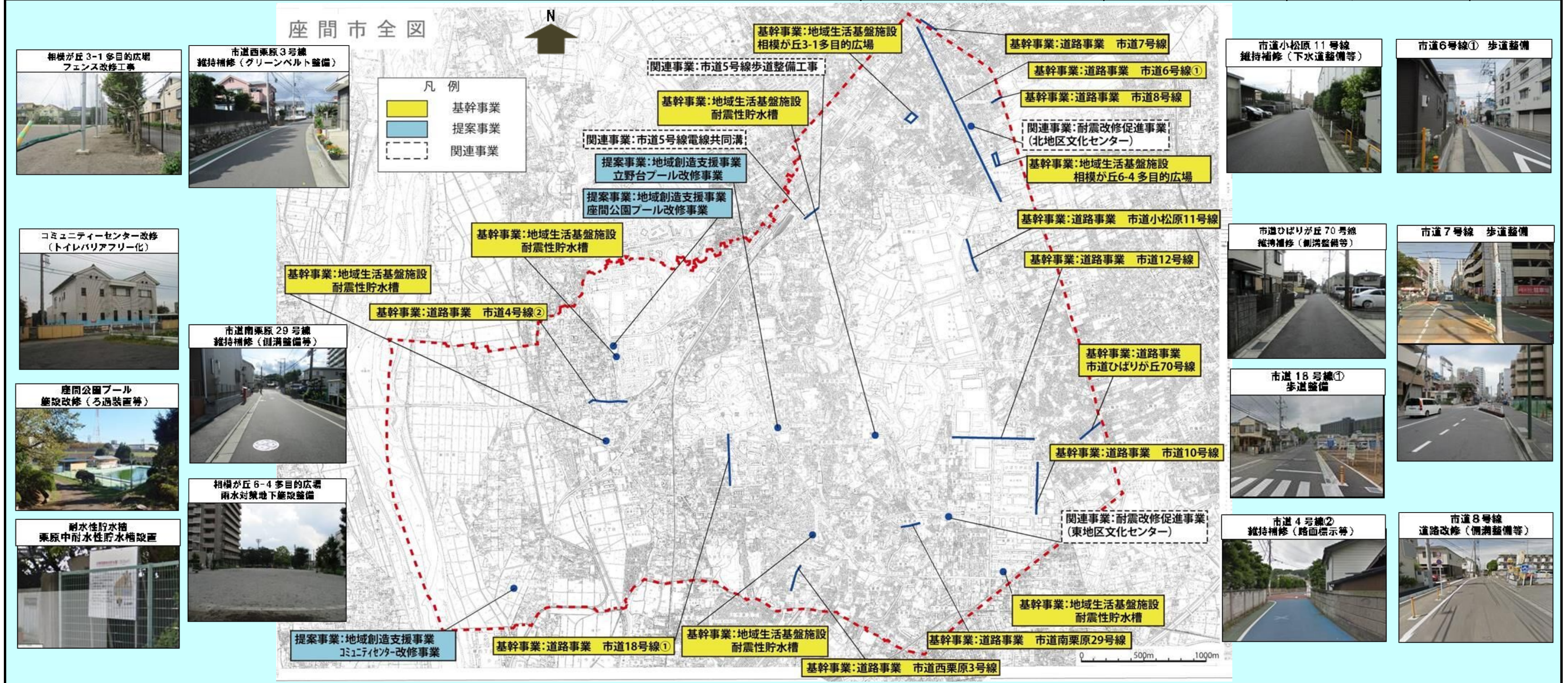
様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 神奈川県 | | 座間市 | 地区名 | 座間地区 | | 面積 | 1,758 ha | | | |
|--------------------------------------|--|--------------------------|--|--|---|---|-----|----------|-----------------------------------|---|---------|
| 交付期間 | 平成24年度～平成28年度 | | 事後評価実施時期 | 平成28年度 | 交付対象事業費 | 949百万円 | 国費率 | 0.4 | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 | 道路(市道6号線①、市道7号線、市道8号線、市道小松原11号線、市道南栗原29号線、市道西栗原3号線、市道4号線②、市道18号線①)、地域生活基盤施設(耐震性貯水槽) | | | | | | | | |
| | | 提案事業 | 地域創造支援事業(市営プール改修事業(座間公園プール)、コミュニティーセンター改修事業(新田宿コミュニティーセンター)) まちづくり活動推進事業(地区まちづくり推進事業(栗原東部土地利用方針策定業務)) | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 | 道路(市道6号線②、市道13号線、市道ひばりが丘42号線、市道2号線、市道4号線①、市道18号線②) | 削除/追加の理由 | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | | | |
| | | 提案事業 | — | — | | — | | | | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 | 道路(市道ひばりが丘70号線) 地域生活基盤施設(相模が丘6-4多目的広場、相模が丘3-1多目的広場) | ・交通の安全性、歩行者の快適性の向上のため。 ・防災対策を充実させるため。 | | 指標1「道路の整備状況満足度」、指標2「災害に対する安全性の満足」度に関係するが、数値目標は据え置く。 | | | | | |
| | | 提案事業 | 市営プール施設改修事業(立野台プール) | ・防災対策を充実させるため。 | | 指標2「災害に対する安全性の満足」度に関係するが、数値目標は据え置く。 | | | | | |
| | 交付期間の変更 | 当初 | 平成24年度～平成28年度 | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | — | | | | | |
| | 変更 | — | — | | — | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 従前値 | 目標値 | | 数値 | | 目標 | 1年以内の | 効果発現要因 | フォローアップ |
| | | 単位 | 基準年度 | 目標年度 | | モニタリング | 評価値 | 達成度 | 達成見込み | (総合所見) | 予定時期 |
| | 指標1 | 道路の整備状況満足度 | % | 17 | H23 | 19 | H28 | ○ | あり なし | 生活道路等を中心とした市道整備を行った結果、道路の整備状況の満足度が向上し、円滑な地域交通が確保されつつある。 | — |
| | 指標2 | 災害に対する安全性の満足度 | % | 13 | H23 | 18 | H28 | △ | あり なし ● | 災害拠点となる場所への防災対策を充実させる整備を行った結果、満足度が向上し、防災機能が向上しつつある。 | — |
| 指標3 | 防災設備の確保率 | リットル/人 | 5 | H23 | 8 | H28 | ○ | あり なし | 耐震性貯水槽の設置を確実に進めたことにより確保率が目標値に達した。 | — | |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 従前値 | 目標値 | | 数値 | | 目標 | 1年以内の | 効果発現要因 | フォローアップ |
| | | 単位 | 基準年度 | 目標年度 | | モニタリング | 評価値 | 達成度※1 | 達成見込み | (総合所見) | 予定時期 |
| | その他の数値指標1 | | | | | | | | | | |
| | その他の数値指標2 | | | | | | | | | | |
| | その他の数値指標3 | | | | | | | | | | |
| その他の数値指標4 | | | | | | | | | | | |
| 4)定性的な効果発現状況 | <ul style="list-style-type: none"> 生活道路の歩道整備、道路改良等を行った結果、市民の交通の安全性、快適性の向上が図られつつある。 耐震性貯水槽の設置、避難所機能の確保等により、地域防災機能の充実に図られつつある。 | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | 実施内容 | | | | 実施状況 | | | | 今後の対応方針等 | | |
| | モニタリング | 都市再生整備計画事業に記載した指標1～3について | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | ● | | |
| | 住民参加プロセス | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | |
| | 持続的なまちづくり体制の構築 | | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | | | | |

様式2-2 地区の概要

座間地区(神奈川県座間市) 都市再生整備計画事業の成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | 従前値 | 目標値 | 評価値 | |
|--|---------------|-----------|--------|--------|--------|
| 大目標:安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくり ○道路の整備、バリアフリー化等により、安全性、快適性の向上を図ります。 ○地域防災施設としての避難所の整備を進めるなど、防災対策の充実を図ります。 | 道路の整備状況の満足度 | 単位:% | 17 H23 | 19 H28 | 24 H28 |
| | 災害に対する安全性の満足度 | 単位:% | 13 H23 | 18 H28 | 17 H28 |
| | 防災設備の確保率 | 単位:リットル/人 | 5 H23 | 8 H28 | 8 H28 |



まちの課題の変化

- 道路事業の進捗により狭隘道路の改善のため拡幅改良や生活道路等の市道整備を実施した結果、市民の道路整備状況における満足度が向上したが、道路利用についての安全性・快適性の更なる向上が求められている。
- 耐震性貯水槽、プール、多目的広場等について整備を行った結果、満足度が向上し、市街地環境及び都市防災機能が向上したが、安心・安全なまちづくりや災害への対応等の更なる向上が求められている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 交通の安全、快適性の維持向上
 - ・整備改善された生活道路について、機能を維持するための点検・維持管理に努めるとともに、歩行者、車利用者の安全性、快適性を維持向上を図るため、市民意向調査を踏まえた生活道路を中心とした道路整備を行う。
- まちの防災機能の維持向上
 - ・災害時等において、避難所としての機能を最大限に発揮するため、日常の点検及び維持管理に努めるとともに、避難場所としての機能の維持及び安全性の対応を図り、安心・安全なまちづくりの更なる向上のため、防災施設の整備を行う。
- 変化する生活環境への対応
 - ・今後、想定される土地利用の変化に対応し、安全で快適な生活環境等を維持・向上させるため、市民ニーズを把握したなかでの取り組みを検討する。